

ala クルーズ

広報第 51 号
令和 2 年 4 月 1 日

ala クルーズ “2019 イルミネーションプロジェクト”

今回のテーマは 『夢と希望』

12月7日(土)ランプシェード製作が終わり、日が暮れて寒くなった午後5時30分、今年のイルミネーションが点灯しました。9月に企画会議が始まって、今日の点灯式に間に合わせようとスタッフがほぼ毎日製作に取り組み頑張りました。今年のテーマは『夢と希望』です。年々手が込んだイルミネーションが製作され、訪れた人たちを2月2日まで楽しませてくれました。初めての点灯はランプシェード参加者の中から選ばれ、皆さんの掛け声の「3. 2. 1. 0」で点灯！点灯式に参加したスタッフは「きれいと喜んでもらえてうれしかったです。やった甲斐があります」と微笑んでいました。ランプシェードの製作をした人たちも喚声を上げていました。



設営→



←ケーブルテレビの取材を受ける

2019 年 手作りランプつくろう

12月7日(土)“手作りランプを作ろう!!ワークショップ”が開催されました。スタッフの皆さんは13時に集合して受付開始の14時30分までの間に、机・椅子の設置、備品確認やタイムスケジュールの打合せ等の準備を着々と進めていきました。15時になりワークショップが開始され、初めに澤野理事長からタイムスケジュール等の説明がなされ、次にスタッフの山本さんから制作の説明があった後、ランプの制作開始になりました。美術ロフトでの“手作りランプを作ろう!!”は今年で6回目になるそうです。今年は見本市を中心に美濃加茂市、八百津町、多治見市等の周辺地域の参加者もあり、その中にはペルーやブラジル等の出身で今は見本市内に住む外国からのご家族もいて、総勢63組100名の参加がありました。参加された皆さんに「このイベントの情報を何で知ったのか」「ランプのデザインは考えてきましたか」と尋ねてみました。情報は「alaの館内のチラシやホームページで知りました」というのが一番多く聞かれました。リピーターが多く、その経験から粘土の色が濃く染まるようにアクリル絵の具・ビーズや作業に使うローラー・こて・ストローを用意したり、厚紙で作った型枠を作ってきた人もいました。そういった皆さんは大体デザインが決まっている方が多かったように思います。しっかり決まっていなくても、ぼわーっと頭の中に描いている人、作り出してから考えるという人も半数位いました。制作開始から30分経過する頃には、何をやるか迷っていた手も早くなり瞳もだんだん輝いてきました。作っているうちにどんどん想像が広がり、丸めたり、押しつぶしたり、くっ付けたり、削ったりしながら創造されていくのが粘土細工の面白さかもしれません。制作終了時、自分の名札を作品につける子どもたちの顔は達成感にあふれていました。イルミネーション広場を彩った皆さんのランプは家に帰った後、それぞれの家庭を明るく彩ることでしょう。



東京視察研修

令和元年11月21日・22日

東京視察研修事業感想のまとめ

Q1. 今回の研修で感じたことや、気づいた事など。

- ①新国立劇場・サントリーホール・トリフォニーホール等、日本を代表するような劇場で施設の裏側まで見せていただいた事、またプロのフロントスタッフの業務を見学できた事が良かったと思います。
- ②どこの施設にお邪魔しても、快く見学させていただき、財団の方のご尽力に感謝します。参加人数が多いので、ちょっとまとまりが悪いと感じました。やはり都会の移動は大変だと思います。それぞれが一人でも行動できると思います。新国立劇場では、施設見学だけでウキウキしました。
- ③大人数の研修で移動などの懸念がありましたが、財団をはじめ理事長、副理事長の的確な誘導があり、スムーズに移動ができたこと感謝致します。ありがとうございました。また、色々な手配お疲れさまでした。
- ④アーラは広い敷地で、お客様にとって良い会館であると思いました。都会の劇場は沢山あり、交通利が良いのでうらやましい。一般の人には見られない所に入れて良かった。
- ⑤計画される理事の負担があまりに大きすぎるのではないかと心配しています。
- ⑥個人に集中する活動は長続きしません。改善したらと思います。各人が一人で行動することを原則にすることが必要ではないでしょうか。そして都合で参加できなかった会員はこの研修をどのように受け止めているのかを聞きたい。また、以前計画された劇場と今回の劇場がダブっていることはなかったでしょうか？もしそうであれば、参加された方がどのように感じられたのかなと思います。フロントスタッフの行動もアーラとそのまま比較はできないと思いますが、アーラのメンバーの方が素晴らしいと改めて感じました。
- ⑦ゆっくり話すことができない人達と行動する折々に思いがけない人と隣り合わせとなったりして話すことが出来たりと普段と違う面にふれあうことが出来てよかったです。
- ⑧綿密に計画してくださったおかげで充実した視察研修ができました。
- ⑨どの劇場も同じ様なものだと思っていましたが、建物、内装等それぞれが素晴らしく、独特の雰囲気を持っていることに感激しました。
- ⑩お客様全員の配布物の中に「災害時のご案内」が入っていた(新国立劇場)、耐火、耐震されているがお客様の恐怖に対するゆとりを与えているとの事。
- ⑪当初今回の視察研修はこれまでとは違い、東京の人混みの中公共交通機関を利用し、団体で行動することに不安がありましたが、坂崎さんのご尽力により無事に終える事ができ何よりでした。視察先は、国内を代表する三つの劇場を、二日間にわたり回るといっ少ハードなスケジュールでしたが、その先々では、可見市のアーラからの視察ということで温かく迎えられ、初めて東京の劇場を視察した人たちにとっては、これまで話には聞いていたアーラの凄さを、肌身で感じる事ができた良い機会になったことでしょう。夕食でのデザートケーキのサプライズ最高でした。
- ⑫スタッフの方々が自信を持って仕事をしているように見えました。
- ⑬東京というだけでワクワク！大勢の団体行動、しかも公共交通機関での移動でしたが、スムーズに誰一人迷子にならずビックリでした。新国立劇場のバルコニーの足元が気になり又椅子の背もたれに体をくっつけて



と、前にかがみ込みのぞき見しない様にと、いい表現だと思いました。トリホニーホール終演後の座席チェックは直径2～3cmぐらいのライトでされていました。我々も落とし物を探したり、緊急時の時にはペンライトではなく大きめのライトを各階に最低1～2個あるといいなと思いました。

- ⑭アーラ以外の劇場を見学したことによって、アーラの良さそして足りない所を発見することが出来ました。今回は東京の劇場だったということもあり、3ヶ所とも道路に面していて分かりづらい建物でした。新国立劇場で





若ければスムーズな動きができるのではないかと感じました。

- ③はじめての新国立劇場では建物の規模、ホールや舞台の大きさは圧巻でした。またオペラの練習風景を観る事が出来て大満足です。
- ④素晴らしい大劇場を見学できたことで、新しい感動をもらいました。各劇場が当初の設立趣旨が、数年経過した今も十分に伝えてくれているのだろうと、劇場スタッフの働きぶりを拝見して分かりました。クルーズもアールで仕事ができることを誇りにする気構えを、市民の皆さんに改めてアピールしていきたいと思えます。
- ⑤アールクルーズの一員として普段見学できない施設を3か所も実際に見聞きできたことは大きな喜びでした。東京を感じました。
- ⑥かなり有意義でした。
- ⑦トリフォニーホールでクルーズの方に質問したら丁寧に答えてくださいました。お客様に聞かれたら答えられるようにしたいと思えます。
- ⑧新国立劇場はオペラ、バレエ専門の四面舞台のプロセニウム劇場、オーケストラピットが常設され、120人の演奏ができる広さ。さすが・・・新国立劇場だと。見学できたことに感謝です。
- ⑨今回で二度目となる東京視察研修は、前回とは違い少し余裕をもって臨むことができました。新国立劇場は初めてでしたが、日本を代表する劇場であり地方ではとうてい叶わない演目が日常的に行なわれ、その一コマに触れることができ良い機会になりました。また、その反面自分には理解できなかった演劇が、多くの人たちに抵抗なく受け入れられている東京の現実を見て、人の好みの多様性を強く感じました。
- ⑩初めての東京研修でしたので、私にとってはすべてが刺激になりました。それぞれの方々が余裕をもって動いているように見えました。
- ⑪とても刺激になりました。ボランティアどうこうじゃ関係なく、公演を成功させる為に皆のチームワークが必要だと益々感じました。
- ⑫サントリーホール、トリフォニーホール共にホールの構造に驚かされました。音を良くするための天井の造り、ステージと座席の関係など勉強になりました。パイプオルガンが聴けなかったのは残念でした。

東京研修アンケート一部抜粋



ala クルーズ令和2年度通常総会お知らせ

令和2年5月24日

可児市文化創造センター改修工事に伴いスタッフルームで開催されていた
理事会・月例会は下恵土公民館で行います（4月～9月まで）



フロントスタッフの
講習会



只今会員募集中

入会方法

所定の「入会申込書」に「年会費」を添えて事務局に申し込み下さい。

ワークショップのイベント

年会費

正会員（18歳以上） ー□ 2,000円

正会員（18歳未満） ー□ 1,000円

準会員（賛助会員） ー□ 10,000円

※会費は、年度途中に入会した場合も年度末(3/31)までとします。

alaクルーズ事務局

〒509-0203 岐阜県可児市下恵土3433-139 可児市文化創造センター内

営業時間/10時～15時(月・水・木・土は在勤日)

TEL/FAX : 0574-61-3414

EMAIL/al-acrews@kpac.or.jp



可児市文化創造センターの改修工事に伴う休館についてお知らせ

日頃は可児市文化創造センターをご利用いただきありがとうございます。当センターは開館から15年を経過し、今後とも安全かつ快適にご利用いただくため大規模な改修工事を実施することとなりました。ご利用の皆さまにはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

利用休止期間

主劇場、小劇場 2020年3月16日(月)～2021年1月末まで（予定）

その他の施設 2020年3月16日(月)～2020年9月末まで（予定）

※現時点での予定となります。

利用申込受付 ※利用休止期間にご注意ください。(可児市文化創造センター)

編集後記

2月16日(日)NHKのど自慢がalaの主劇場で生放送された。当日は雨。肌寒い日。私はテレビで後半から見る事ができた。空席は少しあったものの上の階まで客席は埋まっていた。見慣れた客席を画面で見るとはうれしいものだ。何ととっても日本中に放送されている！可児市というステージの文字がまぶしかった。今年は大河ドラマ『麒麟がくる』もテレビで放映中である。私はその日、地元のスーパーマーケットで『麒麟がくる』のお線香を見つけた。ピーコックブルーの色をした上品な香りの線香だった。早速購入した。桔梗の香りに包まれた。可児市を満喫した一日となった。(H)



**

ala クルーズ事務局

TEL/FAX : 0574-61-3414

<https://www.kpac.or.jp/alacrews/>

Mail : al-acrews2@kpac.or.jp

ala クルーズ

戻る